

地域医療連携室 だより

宮城県立がんセンター
MIYAGI CANCER CENTER

平成19年5月1日発行



発行 地域医療連携室
TEL (022)384-3151
FAX (022)381-1169



宮城県立がんセンターの現況

宮城県立がんセンター 病院長 西條 茂

「地域医療連携室便り」第2号をお届けいたします。

まず本年3月をもちまして宮城県病院事業管理者をされておりました久道茂先生、また宮城県立がんセンター総長でありました桑原正明先生が退任され、新しく大崎市病院事業管理者でありました

木村時久先生が宮城県病院事業管理者として赴任され、がんセンター総長兼務となりましたことをお知らせいたします。

さて4月からの当センターの体制ですが、懸案でありました麻酔科に東北大麻酔科から村上憲孝、安藤泰志2名の麻酔指導医が常勤医として赴任いたしました。昨年度は常勤麻酔科医不在でしたが、多くの先生方のご協力でなんとか前年度並みの手術件数を維持することができました。今年度は手術件数の20%増を目指し、できるだけ手術待ち時間の短縮を図りたいと思っております。婦人科が3人、乳腺科が2人の体制となり、消化器内科、血液内科、呼吸器外科、呼吸器内科、整形外科、化学療法科、脳外科、頭頸科に若手の先生が交代で赴任しました。

また4月にはがんセンター研究所が東北大学大学院医学研究科の連携大学院として機能する協定が結ばれ今後の臨床研究に弾みがつくと期待しております。

昨年東北大学病院とともに都道府県がん診療連携拠点病院に指定され12月には石巻赤十字病院、大崎市民病院、公立刈田総合病院、仙台医療センター、東北労災病院の7施設で宮城県がん診療連携協議会を立ち上げ、それに伴う研修事業として大学病院ではがん化学療法、当センターでは放射線治療と緩和ケアを受け持ち皆様のご協力により無事研修を終えることができました。

今年度も医師、薬剤師、看護師、放射線技師を対象とした研修事業を行うとともに先生方へのがん情報の提供、緩和医療も含めた地域連携パスの構築を重点におきたいと考えております。今回、国が重視しています患者・家族への相談支援センターも充実させ皆様の役に立つような運用を考えて参ります。

我々も頑張りますので皆様のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

相談支援センター

- 病気に対して、心配や悩み、不安事がある場合は、相談支援センターに、ご連絡ください。
- 専門のスタッフ(看護師、ソーシャルワーカー等)がお話を伺い、問題解決のためのお手伝いをします。

相談支援センターの役割

① なんでも医療相談 (看護師対応)

患者さんの悩みごと、困りごとや当センターに対する要望など様々なことについてご相談をお受けします。

② 医療福祉相談室 (医療ソーシャルワーカー対応)

退院後の転居先や在宅療養などの社会的問題、心配ごとなどの心理的な問題などのご相談をお受けします。

③ セカンド・オピニオン

セカンド・オピニオンは主治医以外の医師の意見を聞くことにより、患者さんご自身が治療方法を自己決定するのに役立てていただくものです。

④ 医事相談

医療費の支払いが心配な場合に、医事担当職員がご相談に応じます。



⑤ 緩和ケア相談

体のつらい症状や心のつらさ・苦しみを和らげたい時、緩和ケア外来受診の方法・緩和ケア病棟入棟を希望の時はご相談下さい。

⑥ 地域医療連携室

当センターはがん専門病院として高度で良質な医療を提供します。地域の医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りして、スムーズな受診ができるようにします。

診療科紹介

耳鼻いんこう科(頭頸科)

診療科長
松浦 一登

■ 当科の概要

耳鼻いんこう科(頭頸科)は当センター開設時に、現在院長である西條茂が診療科長として着任し、2名でスタートしました。その後増員され、現在は院長の他に常勤医師3名とレジデント2名で頭頸部領域の悪性腫瘍の診断・治療を行っています。

耳鼻いんこう科(頭頸科)の入院病床数は30床であり、1年間の新規頭頸部癌患者数が約150人、年間手術件数は200件前後です。



■ 当科の特徴

頭頸部領域には喉頭、咽頭(上・中・下)、口唇・口腔(舌、歯肉、口蓋など)、鼻腔・副鼻腔、唾液腺、甲状腺、頸部食道があり、これらを治療の守備範囲としています。そしてこの領域は摂食・嚥下、呼吸・構語、味覚・嗅覚などの機能を有し、顔貌といった外から見える部分でもあります。

こうしたことより当科では開設当時から生存率の向上を目指すと共に治療後のQOLを重視した治療を行ってまいりました。昨年末には早期の咽頭癌診断に有用とされているNBI(narrow band imaging)を導入し、診断精度の向上に努めております。標準的治療を第一に行っておりますが、手術治療においては積極的に機能温存手術の導入を進めており、喉頭癌や下咽頭癌、進行口腔癌に対する喉頭温存手術も行っています。進行癌の手術治療では複数の診療科と共にチーム医療を行っており、症例によっては器官の再建のため形成外科が移植手術を行っています。

一方、標準的な化学放射線療法に加え、超選択的動注化学放射線療法を行っており進行癌に対しても優れた一次治療効果を挙げています。

また全国の頭頸部癌治療における拠点病院として厚生労働省がん研究助成金研究班に所属し、新しい治療法の開発を多施設共同で行っております。

■ スタッフ紹介

平成19年4月現在のスタッフは、西條茂(院長:専門医)のほかに、松浦一登(診療科長・主任医長:専門医)、小川武則(医長:専門医)であり、7月より更に一名の着任が予定されています。また、レジデントの去石巧(専門医)、清川裕道がおります。

■ 診療状況

外来診療日は、月・火・木の3日(午前中)であり、水・金は手術日となっております。

また、金曜日の午後は頭頸部エコー検査日となっており、甲状腺や頸部腫瘍の精査を行っています。

■ 診療実績

根治治療を行い得た癌の治療成績(疾患特異的5年生存率)は、喉頭癌88%、中咽頭癌54%、下咽頭癌43%、口腔癌60%、上顎癌59%です。頭頸部癌では重複癌・多重癌の症例が多く、治療開始前の胸腹部の検索は必須と考えます。当科では2~3割の患者さんに他癌を認め、他科と合同で治療にあたっています。高度な技術を要する機能温存手術はこの数年症例数が増加し、喉頭/下咽頭部分切除術は50例以上の経験を有しています。

こうしたオプションの手術治療法を提示できる施設は国内において数少ないものと考えます。また、超選択的動注化学放射線療法は開始以来10年以上となり160例を超える症例を持ち、これは国内においてトップクラスの実績です。

外来新患診療体制表 平成19年4月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科		●	●	●	●	●
内科	血液内科	●	●	●	●	●
	循環器科	●		●	●	
	化学療法科	●		●		
呼吸器科		●	●	●	●	●
外科	乳腺科	●		●	●	
	外科	●	●	●	●	●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳鼻いんこう科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線科		●	●		●	●
緩和医療科				●		●

診療受付時間：午前8時30分～11時00分までをお願いします。
TEL (022)384-3151(代) FAX (022)381-1169

センターからのお知らせ

◆宮城県立がんセンターセミナー

●第147回

- 演題：「新規医薬品の創出と開発の道筋」
- 演者：川上浩司先生
京都大学大学院医学研究科・薬剤疫学分野教授
- 日時：平成19年5月11日(金) 17:30～18:30
- 場所：宮城県立がんセンター 大会議室

20世紀末からのバイオテクノロジー技術の急速な進展と、ヒトゲノムの解析が終了したポストゲノム時代において、疾患にかかわる遺伝子や分子を特異的にターゲットとした分子標的療法、核酸医薬、細胞・遺伝子療法、治療的ワクチンなどの生物製剤(バイオロジクス)の研究開発が増加した。本講演においては、国際的な先端医薬の研究開発の状況と、開発の道筋、法制度について解説する。

●第148回

- 演題：プロテオミクス～基礎と臨床をつなぐ橋～
- 演者：近藤格先生
国立がんセンター研究所
プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクトプロジェクトリーダー
- 日時：平成19年5月25日(金) 17:30～18:30
- 場所：宮城県立がんセンター 大会議室

国立がんセンター研究所では、治療奏効性、生存・再発・転移を予測可能にするバイオマーカーを開発している。プロテオームはゲノムの機能的翻訳産物であり、がん細胞の個性を直接制御しているため、プロテオーム情報と臨床病理情報を統合的に解析することにより、診断のためのより精度の高いバイオマーカーが開発できると考えている。本発表では、国立がんセンターでのプロテオーム解析の実例を紹介し、バイオマーカー開発への取り組みについて述べる。



交通案内

- J 宮城交通バス** 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用名取駅西口から「県立がんセンター」行きを利用
- R 名取市福祉バス** 「げんき名取号(愛島線)」名取市役所前から「北目上原」行きを利用
- 自家用車** 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由県道仙台・岩沼線を利用(所要時間約15分)

相談支援センターのご案内

- 受付時間 (面談) 午前10時から12時 (電話) 午前8時30分から午後5時15分まで
- 面談場所 がんセンター 相談室(1階)
- 電話 (022) 384-3151(代)

宮城県立がんセンター
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表) (022)384-3151 FAX(総務班) (022)381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。